

なかの生涯学習大学あり方検討会の実施報告及び令和5年度の開講について

令和5年度のなかの生涯学習大学のあり方について、令和4年9月より「なかの生涯学習大学あり方検討会」(以下「検討会」という。)にて、4回に渡りなかの生涯学習大学の方向性について検討を行った。このたび、人生100年時代における地域での仲間づくりや、魅力あるなかの生涯学習大学の運営を目指した事業運営について方向性が決まったため、報告する。

1 検討会での検討内容について

様々な意見交換がされたが、主に以下のとおり、課題と改善に向けた取組について検討を行った。

(1) 減少傾向にある新入生増加対策について

課題：広報活動の強化

(主な意見)

なかの生涯学習大学事業自体の存在を知っている人が少ない。受講生の多くは、たまたま手に取ったチラシだったり、卒業生などからの口コミにより入学した経緯もある。受講生・卒業生の協力により毎年、募集ポスターの掲示していただいております、知り合いの店舗や自宅の壁などに掲示するなど、地域により密着した形での広報活動を行っている。いろいろな角度から広くターゲットに届く広報を行う必要がある。

(改善に向けた取組)

区及び在校生・卒業生の協力による様々な切り口での広報活動を強化するため、今まで行ってきた区報、ホームページ、ないせす等での周知や受講生・卒業生の協力による募集ポスターの掲示に加え、以下の取組を行う。

- 受講生が作成した「地域かるた」を区民活動センターで掲示し、受講のイメージを持ってもらう。
- ケーブルテレビに出演し、直接募集を呼びかける。
- 新入生説明会において、受講生、卒業生から生涯学習大学に入学した経緯や受講後の魅力などを直接呼びかける。

(2) 在校生の退学予防対策について

課題：受講生同士の関係づくりの強化

学年、地域を越えたつながりづくり

閉講期間中の事業開催によるモチベーション維持

(主な意見)

退学は、様々な要因があると思われるが、他の受講生とコミュニケーションがうまくとれず、途中で退学する人もいる。班単位の少人数活動以外にも、学年全体や他学年との交流があるとよい。また、閉講してから新年度までの閉講期間中に、受講生間の交流が途絶えると同時にモチベーションが下がり、新年度を迎えることなく退学する人もいる。

(改善に向けた取組)

受講生間のコミュニケーションが構築できるカリキュラムを意識し、以下の取組を行う。

- 座学にグループワークを取り入れ、参加型の仕組みを検討する。
- 運営委員会を活用し、学年間だけでなく学年の枠を超えた情報交換を行う。
- 閉講中には、受講生間のつながりが切れることのないよう集まれる場を設定する。

(3) 社会状況や受講生のニーズに合った魅力あるカリキュラム構成について

課題：コミュニケーション力、ファシリテーション力の向上

受講内容の振り返り

卒業生人材の起用

(主な意見)

円滑なグループワークを行うために必要なコミュニケーション力やファシリテーション力を学ぶ講座があるとよい。ゼミや講座について、受講生のニーズとマッチしているか、受講生の声を反映させることで魅力あるカリキュラムとなるのではないか。また、卒業生の経験や知識、技術をなかの生涯学習大学で活かさないか。

(改善に向けた取組)

社会状況や受講生のニーズを反映させ、かつ卒業生も活躍できるカリキュラムづくりのため、以下の取組を行う。

- コミュニケーション力、ファシリテーション力を学ぶ講義を、1学年のカリキュラムに取り入れる。
- 各学年の班ごとに、受講した講座などについて意見交換を行い、次年度のカリキュラム作成時に反映させる体制をつくる。
- 卒業生や卒業生の自主グループに、運営ボランティアとして関わってもらえるように呼びかける。また、ことぶき会など卒業生の活動を紹介し在校生との関わりをつくる。

(4) 事業継続性の維持

課題：3年間の進級制

運営委員会の体制構築

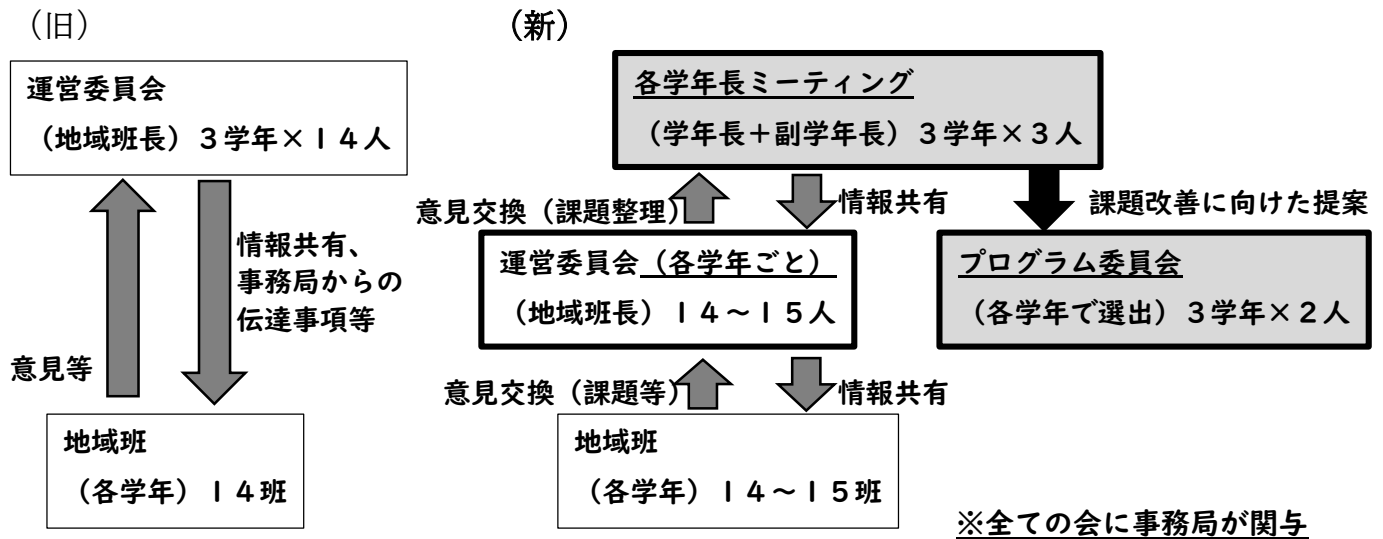
(主な意見)

選択制コースの設定や2年間の進級制では、仲間づくりもできないため、3年間での

学びをとおした仲間づくりは継続していくべき。なかの生涯学習大学における運営委員会の位置付けが不明確である。何をすべきか明確にしたほうがよい。

(改善に向けた取組)

3年間の進級制を継続し、在学生の意見を取り入れた運営体制を構築するため、以下のとおり運営委員会体制を見直す。



(5) その他

上記以外にも、募集定員の考え方、事務局の関わり方、社会教育という明確な位置付け等、様々な意見が出され話し合いを行った。次年度の改善に至らなかったものについては、区として受け止め、検討していく。

2 令和5年度なかの生涯学習大学の開講について

上記の改善に向けた取組を反映させ、以下のとおり令和5年度なかの生涯学習大学を実施する。

- (1) 開講期間 令和5年4月20日～9月末(予定)
- (2) 募集期間 令和5年2月6日(月)～3月17日(金)まで
- (3) 募集定員 200人(定員を超えた場合は抽選)
- (4) 受講料 5,000円
- (5) 対象者 ①原則55歳以上の中野区在住者で、ひとりで通学できる方
②社会情勢や地域での暮らし・活動に関心のある方
③他の受講生と協力して、運営に携わることができる方

3 今後のスケジュール(案)

- 令和5年4月20日 開講式
- 4月26日 講義開始
- 5月～10月 運営委員会(全4回)
- 9月28日 閉講式